

産振第1230号
令和6年12月16日

入札参加事業者 各位

山梨県知事 長崎 幸太郎
(公 印 省 略)

「令和6年度山梨有機ワインセミナー業務委託」の一般競争入札に係る質問への回答について

令和6年12月17日までに提出のあった質問について、以下のとおり回答します。

【質問項目】

仕様書 4 委託業務

【質問内容】

- ①参加募集のチラシ作成は何枚でしょうか。
- ②アンケート作成の枚数は何枚でしょうか。

【回答】

- ①参加募集のチラシの印刷は必要ありません。データのみ納品いただきます。
なお、完成イメージは以下のとおりです。
- ②アンケートの作成・集計枚数は、50枚前後を想定しています。

美酒美県やまなしセミナー ～ネクストステージへの提言～



ボルドーやブルゴーニュなどの世界的なワインの銘醸地は、その産地特性について、気候や土壌など科学的観点や歴史的観点から説明され、魅力的な産地としての認知につながっています。本県は日本で初めてワインと日本酒のGI（地理的表示）を獲得し、今後世界的な銘醸地としても評価されるために、科学的・歴史的観点から山梨の魅力の説明し、世界に向け発信・PRしていく必要があります。その過程において、まずは県内のワイン・日本酒の生産および流通に関係する皆様およびブレスの皆様に向け、令和5年度に実施した本県のワイン・日本酒の地理学的調査や分析等の調査結果を踏まえ、調査を実施した専門家によるセミナーを実施します。

山梨県産ワインへの提言

1



大橋健一 Master of Wine

山梨県産日本酒トークセッション ～酒の源流としての山梨の水～

2



久田健一郎
地質学者



天野 怜
笹一酒造株式会社代表
・山梨県酒造協同組合会長



木村咲貴
ファシリテーター
SAKEジャーナリスト

3

ワイン & 日本酒のテイスティング

7月12日 金

シャトレーゼホテル談露館
会場：2Fクリスタル

山梨県甲府市丸の内1-19-16

13:00 ~ 16:00

受付開始: 12:30

[主催] 山梨県

山梨県ワイン酒造組合
[後援] 山梨県ワイン酒造協同組合
山梨県酒造組合

<申込窓口>

- 酒類関係者：山梨県産業政策部 産業振興課 地場産業振興 担当 長田 osada-uppj@pref.yamanashi.lg.jp
- メディア / プレス関係者：株式会社グラポン 担当 石田 ishikana@grandpont.co.jp

出演者プロフィール

山梨県産ワインへの提言



大橋健一
Master of Wine

栃木県宇都宮市に拠点を置く酒類専門店「(株)山仁」の代表を務め、全国のこだわりの料飲店に高品質ワインや高級和酒を提案・販売する。一方、2024年には東京の麻布台ヒルズに高品質ワイン&和酒ショップ「インタートワイン・ケーエム・ヤマジン」を開業する。そして、自らのコンサルタント会社となる「(株)レッド・ブリッジ」も率い、国内外のワイン、及び日本酒のプロモーションを展開。2015年に日本在住の日本人で初めてマスター・オブ・ワイン協会(IMW)認定のマスター・オブ・ワインとなったほか、(独)酒類総合研究所(NRIB)認定の清酒専門評価者の学位も保持する。世界最大級のワイン・コンクール「インターナショナル・ワイン・チャレンジ・ロンドン(IWC)」におけるパネル・チェアマン、その日本酒部門(世界最大級の日本酒コンクール)における最高責任者としても手腕を振るう。2018年には、日本酒造青年協議会により「酒サムライ」の称号も授与されている。

山梨県産日本酒トークセッション ～酒の源流としての山梨の水～



久田健一郎

元筑波大学教授 元日本地質学会副会長・現関東支部支部長。前日本地学教育学会会長。専門は地質学(日本各地およびタイ・韓国・イラン・ウズベキスタン)。令和2年(2020)国税庁事業「地質に対応した日本酒仕込み水の水質分析体系化によるテロワール・ブランディング」において日本全国の仕込み水と地質との関係性の調査および体系化を実施。本プロジェクトにおいては、文化地質学的の観点からの考察も含めて山梨県の日本酒のテロワールについての深掘りを実施した。茨城県在住 70歳。



天野 怜

1978年山梨県甲府市出身。高校卒業後、米国に留学。大学卒業後、外資系広告代理店での勤務を経て、2010年笹一酒造に入社。2014年に「旦」を立ち上げ、2019年代表取締役社長に就任。同時期に山梨大学でワインの科学を学び、ワイン科学士の資格を獲得。2015年から山梨県酒造組合と山梨県酒造協同組合の理事を務め、2021年には副会長および副理事長に昇進。GI山梨日本酒の認定取得を主導し、2023年11月に山梨県酒造組合会長および山梨県酒造協同組合理事長に就任。現在、全国加盟酒造組合のトップで最年少。



木村 咲貴

SAKEジャーナリスト。
2018年、カリフォルニア大学ロサンゼルス校にて Journalism Certificate修得。アメリカ初のSAKE専門店 True Sake に勤務。日本酒メディアの編集者を務めるほか日本酒/SAKEを中心とした記事の執筆・翻訳に携わる。専門は海外流通・海外ローカル酒蔵。現在、新潟大学日本酒学コース博士前期課程に在籍。

【質問項目】

仕様書 4 委託業務

【質問内容】

- ①大きめの紙コップの具体的なサイズはありますか。
- ②バケツのサイズの具体的なサイズはありますか。

【回答】

- ①12oz（オンス）です。

- ②10Lです。

【質問項目】

仕様書 4 委託業務

【質問内容】

参加募集チラシ作成について

- ①作成枚数また、アンケートの方法・手段は？
- ②チラシの用紙種類（厚さ等）カラー？
- ③参加募集方法は？募集受付方法は？山梨県様で行うと理解してよいですか？

【回答】

①②

参加募集チラシの印刷は必要ありません。データのみ納品いただきます。

なお、完成イメージは上記のとおりです。

アンケートは会場で用紙を配布し、その場で回収または後日 FAX（県産業振興課あて）で回収します。

③参加募集、受付はこちらで行います。

【質問項目】

仕様書 4 委託業務

【質問内容】

講師について

講師の選定は山梨県様で行うと理解してよいですか？

【回答】

その通りです。

【質問項目】

仕様書 4 委託業務

【質問内容】

レンタルグラスの方が一の破損の保証も見込むのでしょうか？

【回答】

特段の問題がなければ、レンタルグラス費用は、77,972円（税込）で見積もってください。
上記金額には補償費が含まれています。

上記金額以下の見積を妨げるものではありませんが、その場合は、レンタル費用に補償費
を見込んでいただくよう、よろしくお願いいたします。